

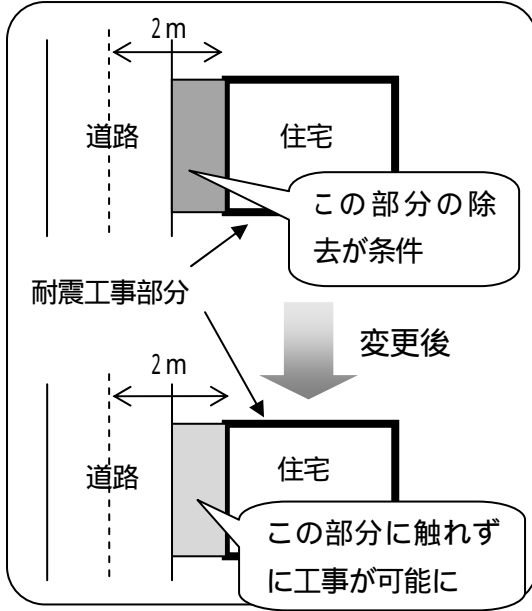


日本共産党文京区議会議員
まんだち幹夫 通信 週刊
 2011年9月23日号 No.210

'みなさんをいつもまんやかに、'

区議団控室：5803-1317（直通）
 萬立幹夫事務所：文京区小石川2-23-7
 ・fax 3868-8355
 メール：mandachi@jcp-bunkyojugidan.gr.jp

《このニュースは区議団ホームページ <http://www.jcp-bunkyojugidan.gr.jp/>でもご覧いただけます》



この間の粘り強い要望で実現しました
木造住宅耐震改修工事への区からの助成制度が前進
 ▲細街路でも除去せず改修可能に
 ▼活用しやすくなります！

東日本大震災を踏まえ、区の耐震改修の助成制度が拡充されることがわかりました。これまで4m未満の道路（細街路）に接している住宅の場合、建物の一部を解体し道路を拡幅しないと耐震工事の助成は受けられませんでした。そのため耐震化工事は進まず平成27年度末までに耐震化率を90%にするという区の目標も実現の見通しも立っていませんでした。少なくない方々が、「この制度では耐震改修工事ができない」とあきらめざるを得なくなっていたのです。

今回、区は「細街路に突出した部分に触れず」に工事を行い、一定の要件を満たせば助

秋、神輿や山車でにぎわい 盆踊りから綱引きまで



週末17,18日は各地でお祭りでした。私の地元町会も、両日とも子ども神輿、山車とおとな神輿が繰り出

しました。子どもの姿が少し減ったかな？ と思いながら、町内を一周すると結構な人数になります。

表町では今年も綱引大会。子ども8チーム、おとなも4チームが競い合い盛り上がりました。祭りが住民の絆を深め町の振興につながるように。



耐震工事への区の助成
 総費用の1/2、高齢者がいる場合は3/4まで助成。
 【上限額】
 1,2階とも 70万円(高齢者宅140万円) 1階のみ 35万円(同 70万円)
 「シェルター」設置 25万円(同 50万円)
 いずれも準防火地域であること

成を行うことに踏み切ったものです。地震の際、命を守る「耐震シェルター（一部屋だけ耐震）」の設置工事にも助成を行うとしています。
 この措置は10月1日から実施されます。（期限は平成27年度末迄）

まんだち日誌

- 13日 本議会質問、各党派2巡目で本日は板倉議員、防災、地域振興など質問しました。
- 15日 自治制度・行財政改革調査特別委員会に出席。次回委員会にさらなる行革の素案が出てきます。使用料・手数料の見直しや区有地の活用のほか、売却まで視野に入っているようので軽視できません。終了後、理事会。
- 17・18日 秋の祭り。おとな神輿を担がせてもらいました。翌、翌々と肩、足が張り詰め筋肉痛に襲われま
- す。しかし、心地いいのが救いです。
- 20日 議会運営委員会。議員提案の「費用弁償を廃止する」議案の討議。議会改革、区民目線からみて廃止は当然を主張。しかし結果はまた否決。